

# 新歓ラニ実話

大塚隆夫

もう一回秋川美谷へ行つてみたいーと口づのが今の頃の気持ちです。つまり、苦戦したあの道を、合宿やフリーラン、タイムトライアルを経験した今、走つてみたいと思つたのです。

五月某日は天気もよく、さうとも別に来たのですが、諸先輩方はテツマコをやつたらしく寝ていました。何やかや言つているうちに、そろそろ本館前に整列しました。部長の野崎さんとかが言う人へこのころはよく知らなかつたし、が乗り方をこーくしてくれました。さあ出発。一名取さんとか言う人がコースリーダーとして、が、何とペースが早いのでしよう。ほくは多摩川サイクリングロードを以て二回でいきますし

を、失速したちが突然と走つて、さいるのが不思議でした。ほんとに早いし、さうげんめい走つて、さいるので何かいかと、あの時、感と持ちました。今考えてみると、さうでもなかつたことがわかります。とにかくしろつと、サイクリング部の差だ、たのです。

途中で石川君が行方不明になつて、富田さんとか沢木さんとかいう人たちが、行つたり来たりして、いたようです。このために予定が多少狂つたようです。再び小森前班に分かれて出発しました。そして、さしてハ王子で着席しました。午後には、たんと、取も多くなつて、ほくは、こどに張つた神をひたすら回轉させています。前を走つて、た野崎さんが、「さいついかな？」と、若い風毛から距離をかせぎたい、と言えが

けた用、ト、と寝れが出ました。あれでも追いついた。たのてしやうか？。しかし、ギヤチニコ、どしなカッたのもアホなことを知って行きます。ちやうどした下りがありましたか、あの時には何と森林に思えなうか。

秋川、谷は大した所ではなかつたと思ひます。すねあち、あのツトリニクは走ることをけに命をかける誰かさんが、一年をいじめまつとして計画したものでないかという疑念は今も変わりません。秋川、谷では病れて何かパツとしますんでした。走、たという言葉をなかつたやうです。まして金谷さんとかいう人が、ツヤニブし、こねて川に落ちたりしたので、疲れたのは高まの一方でした。

言い忘れましたが、約半数の人々はハモるで

帰、て来たのです。やはり一年をいじめるために懸命に走、たから疲れたのはないかといふ疑いが、ココで頭をもたげてくるのです。

帰りには道、たコースを走りました。何か行きまり地か、たやうです。途中一人二人と、そのまゝ帰、た人もいました。雨が降り出して新しいヤ、ケの初着用をした。こもあれが水を落とすということはどういふことでしょうか？。今とな、ては風神のことです。

陸上強、長編で便所に寄、た時、い、し、たい。た人は、野崎さん、清口さん、鈴木君、三浦君、たと思ひます。野崎さんが、コラーメニを念へまう。と探、たのですか、おこりてなかつた。こが極、まれます。ヤがて雨もあかり、再びサ、インクリニ、グロードに出、ました。今度は向かい風

で何と走りつらかったことでしょうか。ハイの下の方まで「さ」で走るだけ抵抗を少なくして走ったのがさのうの二つのようですねお水です。

野崎さんの提案が「さ」でまた練習します。

「さ」を念ぶよう。「さ」はありませんでした。三浦のスポーツが折れたのもこのころだったと記憶してあります。

学校に着いた時は、もうクタクタで、部屋には、机着組が寝ていました。ビールを買ってきて乾杯しました。

これほどまでにサイクリングが楽しいものか誰が予想したでしょうか。この疲れが残り、多量なりとも後々の多くの仕事に影響を及ぼしたというのは否めない事実であります。

Tokyo  
Institute of  
Technology  
Cycling  
Club

— ある日の部誌 —

★4月22日(木)

\*我々が部室にくると、非情にも誰もいない。スト解除にもめ  
げず、相模湖・津又井湖フリーランをやったのせ、ワソ？  
実は百数十キロにおよぶサイクリングであった。10時、岳氏  
宅を出発。途中1.5時間ほどの休憩をのぞけば、走りずめであ  
った。帰りのサイクリングロードは向かい風と疲れで、耐えま  
れなかつた。うー肩がいたい。もう二本以上書けない。おわり

\*富田, 名取 (富田)

★5月27日(木)

5時ともなると誰も部室にいないのであろうかと実験から帰  
った。鈴木と栗原があめ玉しゃぶりながら来ました。あめ、  
たまには麻雀もやりたり物。とこぞ1時半頃、小島さんと原  
さんの研究室へ行。たら合ハイの写真が貼ってあ、たのせが  
ガスー。しかし、原さんの好みはあんたもんじゃ。(沢木)

★5月31日(月)

きょうは昼休みに部室に来ようと思、たこぞ、我高校から  
のもう1人の現役を入、た叔に会って、スロープで話していた。  
そいつの話によると、今年の入試最低点は、\*615点と4倍に  
いるぞうぞ。モエカニタラウーウワ一ワタニカモシシニ。

\*950点満点 (三ツ)